

趣意書 第15回ナノ・バイオメディカル学会年会

ナノマテリアルは高い機能性を発現するとともに、予想できない有害性も示し得る二面性を有しています。したがって、ナノマテリアルのバイオ医用応用とリスクアセスメントの双方の研究者が同じ場で議論することが安全で機能性の高いナノマテリアルの研究・開発に大事だと思われます。また、ナノマテリアルと生体との相互作用は十分解明されておらず、ナノマテリアル研究者と医学・歯学・生物学等の研究者が同じ場で発表・議論することがこの解明に大事だと思われます。さらに、デバイス研究者とバイオ研究者が同じ場所で議論することがこの分野の発展に大事だと考えられます。このように、本学会は専門分野が異なる研究者が若手・ベテランなど関係なく自由に活発に議論してお互いに発展できる場にしたいと考えています。したがって、この学会では発表者は異分野の研究者にもわかりやすく発表していただき、質疑・応答の時間も長く設定して多くの活発な議論を誘導できる場を提供します。このような活発な議論とお互いの理解によってナノ・バイオメディカル分野の発展と新融合領域を開拓することが本学会の主要な目的です。今回は新型コロナウイルスの感染のリスクを考慮して Zoom によるオンライン形式で行うこととしました。そのため、会員は参加費無料になります。また、個人的なことで恐縮ですが、私、今年度で研究現場から引退することになっています。この学会が最後の花道になりますので、今まで支えていただいた方々を含め、多くの方々の参加を心から希望しております。有意義な大会になるように皆様のご協力をよろしく願いいたします。

学会長・第15回大会長 谷口彰良(NIMS)